

## 新型コロナ 2類から5類へ！

### 今後のコロナ感染症の対策は！？

新型コロナが5月8日から感染症法上の分類で2類相当をインフルエンザと同様の5類に引き下げとなる。今後の感染症対策について、札幌市保健所医療対策室患者調査担当課長 石川珠美氏(前 前田まちづくりセンター所長)から「新型コロナウイルスのこれまでとこれから」をテーマで研修会が行われた。

日夜、感染対策の先頭でご活躍されています石川氏は「札幌市では、これまで55万人、3・5人に1人が陽性と診断されており、誰もがかかる病気でもある。今後も基本的な感染症対策は変わらないが『もしもの備え』が必要」と述べられた。アンケートでは、有意義な研修内容でしたと多く記載がありました。(2/9)

陽性と診断された後の療養の流れは、札幌市ホームページ「療養ナビ」をご欄下さい。また、札幌市陽性者サポートセンターにご相談下さい。**[毎日8時～21時]0570-022-680(ナビダイヤル)**



今後の「感染症の備え」などを語る 石川課長

### 秋元市長との意見交換

札幌市内の連合町内会会長82人が参加し、令和5年度行政懇談会が札幌市内のホテルで開かれた。秋元市長から「町内会支えあい条例」に基づき令和5年度から町内会活動の支援のため助成額の引き上げ(1世帯あたり130円→260円) デジタル活用の促進、資源回収奨励金拡充などの予算を計上したと説明がありました。2/10



予算の概要を説明する秋元市長

## 手稲区内でも相次ぐ”アポ電”

不審電話は、警察相談電話「#9110」

手稲区80代男性宅「電話で、これから行くから」と。また、同じ手稲区に住む80代の男性宅にも電話があり「息子の声と違う」と話すと切られた。いずれも、男性宅にかかってきた電話は、特殊詐欺や強盗の前に家に人がいるかどうかなどを犯人が確認する、いわゆる「アポ電」で手稲区などでも多発しています。

### 定期総会の開催

4月9日(日) 13時 稲積記念会館

2023年度稲積北町内会定期総会を開催し、2023年度、事業計画案、予算案、役員改選案などを審議いたします。ご出席できない方は、委任状(別紙)に、ご署名をお願いいたします。

### 稲積ふるさと祭り 中止

稲積連合町内会 理事会で承認！

稲積ふるさと祭りは、会場予定の稲積小学校の感染症対策を考慮し中止。敬老祝賀会は「会場は使用許可できない」との返答があり中止とすることが承認されました。4月の定期総会に諮り正式に決定となります。2/6